

## 共同運営部門：感染症センター

### —概要—

感染症センターは泉佐野市立感染症センターとして、輸入感染症の国内侵入を阻止するため1994年に関西国際空港対岸のりんくうタウンに建設された。りんくう総合医療センターとして総合的に運用されていたが、1999年4月施行の「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律」施行以来、市立泉佐野病院の管轄下に移行した。

現在は、西日本唯一の特定感染症指定医療機関であり、感染救急対応の機能を持つ感染症センターである。特定感染症指定医療機関としての役割を果たすべく、関西空港検疫所等関連機関との会議や訓練、見学、実習の受け入れ等を実施している。

これまでの経験として、2003年 鳥からヒトへ感染が認められたH5N1亜型ウイルスによる高病原性鳥インフルエンザが、パンデミックインフルエンザ(新型インフルエンザ)に変異することを危惧し体制の強化を図っていたところ、2009年4月豚由来による新型インフルエンザ(2009PandemicH1N1)が発生した。感染拡大防止のため、当センターが中心となり、国内、地域への大きな役割を担った。

2014年 西アフリカでエボラ出血熱がアウトブレイクし、11月7日には我が国3例目(東京での2例目と同日)となるエボラ出血熱疑似症患者(ギニア国籍の20代女性)を関西空港検疫所から感染症センター高度安全病床に受け入れた。国立感染症研究所に血液検体を搬送し、エボラ出血熱は否定された。当院にて熱帯熱マラリアであると最終診断し、加療後、経過良好にて11月9日夜に退院となった。

2015年 韓国でMERS(中東呼吸器症候群)が主として病院内でアウトブレイクし、日本への上陸に備えて受け入れ対応訓練を行った。韓国からの搬入はなかったが、9月13日、中東からの帰国者のMERS疑い症例を関西空港検疫所から感染症センター高度安全病床に受け入れた。検査の結果、MERSは否定された。

2016年は疑い患者の搬送はなく、MERSの健康監視者発生の連絡のみであった。

感染症センター特殊任務看護師に新たに2名の看護師が希望され合計13名となった。感染症センターの円滑な運営及び適正な管理と患者さんの入院生活を支え、安全に感染症看護を行うための情報共有と不安や疑問を解消して勤務することを目的にミーティングを行っている。2016年は医師と看護師共同で看護手順を基本とした感染症センター版の手順作成を始めた。防護服を着た状態は視野が狭く、手袋を3重に装着するため細かい作業がしにくい状況となる。また、感染曝露のリスクもあり細心の注意が必要と

なる。処置を行う上での注意点や曝露の機会を減らすため手際よく行うポイントなどを考えた手順を作成中である。

厚生労働省科学研究 新興・再興感染症及び予防接種政策推進研究事業「一類感染症の患者発生時に備えた治療・診断・感染管理等に関する研究」では、一類感染症対応をする全国の特定感染症指定医療機関、第一種感染症指定医療機関の医療従事者を対象に「一類感染症対策ワークショップ」を開催している。当センターは2014年度から参加しており、昨年度は当センターで開催された。今年度は東京と大阪の2カ所の開催で、国立国際医療研究センターとりんくう総合医療センターで開催された。国内の特定感染症指定医療機関、第一種感染症指定医療機関が集まり学習することは、日本の感染症治療、看護の方針を考える有意義な場となった。また、日本の国際感染症対策の方向性を知るとともに、他施設の取り組みや問題点を共有することにより、自施設の取り組みのふり返りや今後やるべきことがイメージできた研修であった。

2016年2月、安倍総理は「国際的に脅威となる感染症対策関係閣僚会議」で、特定感染症指定医療機関について、エボラ出血熱の患者に対する海外での医療機関の対応も踏まえ、エボラ出血熱等の重症患者に対する集中治療が行えるよう設備の充実を計画的に進め、その機能の強化を図るとの方針を出された。2016年3月15日(火)財務省と厚生労働省の方が当センターの視察をされ、集中治療のための準備をするよう指示があり、2016年12月に集中治療の医療機器が設置された。感染救急の機能を發揮できるよう対応準備を進めているところである。

### —実績—

#### 感染症センター見学者

4月19日(火)	大阪府 健康医療部 医療対策課4名
4月22日(金)	阪大研修医見学1名
6月23日(木)	大阪医科大学 地域産業保健実習 12名
7月14日(木)	関西医科大学 公衆衛生学実習 12名
8月9日(火)	千葉県東金市議会視察 3名
10月6日(木)	奈良県立医科大学 公衆衛生学実習12名

#### 特殊任務看護師ミーティング

4月8日	5月13日	6月10日	7月5日	8月1日
9月6日	10月4日	11月29日	12月1日	1月24日
1月31日	2月7日	3月7日(訓練参加含む)		

#### 院内定期訓練

5月17日(火)	感染症センター クリティカルケア訓練
6月7日(火)	感染症センター クリティカルケア訓練 (血液浄化装置使用時の対応、患者対応:不穩)
7月26日(火)	感染症センター クリティカルケア訓練 (血液浄化装置使用時の流れ検証)

**合同訓練**

11月29日(火)	一類感染症対策ワークショップ 「一類感染症受け入れ態勢整備 研修会」
1月24日(火)	MERS患者対応受け入れ訓練 (厚生労働省関西空港検疫所,大阪府,泉佐野保健所)
1月31日(火)	エボラ患者対応救急搬送、受け入れ訓練 (大阪府,泉佐野保健所,泉州南広域消防本部)

**感染症センター運営委員会研修会**

7月8日(金)	講演「第7回 タイ・ミャンマー国境における 現地で学ぶ熱帯感染症医師研修に参加して」 講師 総合内科・感染症内科 関 雅之 先生
3月24日(金)	講演「検疫業務と実際」 講師 厚生労働省 関西空港検疫所企画調整官 垣本 和宏 先生

**院外訓練研修参加**

7月2日(土) ～3日(日)	JICA 横浜研修 国際緊急援助隊 感染症対策チーム 第1回導入研修 倭 正也
11月14日(月)	一類感染症対策ワークショップ 「一類感染症受け入れ態勢整備 研修会」 国立国際医療研究センター病院 倭 正也
11月15日(火)	2016年度関西空港検疫所検疫措置訓練 新型インフルエンザ訓練 倭 正也、深川敬子
12月9日(金)	第54回国際緊急援助隊医療チーム導入研修 倭 正也
1月27日(金)	新型インフルエンザ対策医療従事者研修会 大阪府 医師会 ①「新型インフルエンザに関する水際対策について」 関西空港検疫所企画調整官兼検疫課長 垣本和宏先生 ②「海外から来航した感染症患者への対応について」 大阪大学医学部付属病院感染制御部教授 朝野和典先生 倭 正也、深川敬子
2月7日(火)	2016年度大阪生活衛生部会講演会 健康危機管理事象における公衆衛生従事者の役割 を考える(バイオテロ)大阪赤十字会館 倭 正也
2月27日(月) ～3月3日(金)	2016年度厚生労働省健康局 結核感染症課一類感 染症予防・診断・治療研修事業 研修先:イタリア共和国 国立感染症研究所、スイス 連邦 ジュネーブ大学病院、WHO 倭 正也

**大阪府、関西空港検疫所、大阪検疫所関連会議**

5月20日(金)	大阪府感染症対策審議会(第1回) (1)会長等の選出について (2)開銀公開について (3)「大阪府感染症予防計画」の改定案について (4)大阪府感染症対策審議会の「部会」について 倭 正也
6月14日(火)	2016年度大阪府・阪南港健康危機管理連絡会 (1)ジカウイルス感染症の発生状況及び検疫所の対応 (2)新型インフルエンザ等発生時の協力依頼事項の確認 (3)狂犬病ガイドライン2001と緊急連絡体制 倭 正也
6月17日(金)	関西空港健康危機管理連絡会議 (1)平成27年度検疫措置訓練実施報告について (2)ジカウイルス感染症について (3)中東呼吸器症候群(MERS)について 倭 正也、深川敬子
8月30日(火)	大阪府感染症審議会 新型インフルエンザ等対策部会(第1回) 議題 大阪府における抗インフルエンザウイルス薬に係る備蓄方針に ついて 等 倭 正也
2月7日(金)	生活衛生部会講演会 健康危機管理事象における公衆衛生従事者の役割を考える 倭 正也
3月9日(木)	大阪府感染症搬送医療機関補助金説明会 倭 正也、深川敬子、山内真澄、藤原正則
3月14日(火)	大阪府感染症審議会 感染症部会 動物由来感染症対 策 大阪府立大学りんくうキャンパス 倭 正也

**厚生労働省会議**

厚生科学審議会(新型インフルエンザに対策に関する小委員会)医療・ 医薬品作業班 倭 正也	
7月5日(火)	厚生労働省 事前打ち合わせ(電話)
7月7日(木)	第4回医療・医薬品作業班 (1)新型インフルエンザ対策における抗インフルエンザ ウイルス薬の備蓄について 議題 新型インフルエンザ対策における抗インフル エンザウイルス薬の備蓄の進捗状況につい て
10月18日(火)	厚生労働省 事前打ち合わせ(電話)
11月22日(火)	厚生労働省 事前打ち合わせ
11月25日(金)	第5回医療・医薬品作業班 (1)新型インフルエンザ対策における抗インフルエンザ ウイルス薬の備蓄について
12月16日(金)	第6回医療・医薬品作業班 (1)新型インフルエンザ対策における抗インフルエンザ ウイルス薬の備蓄について
1月19日(木)	厚生労働省 事前打ち合わせ
1月20日(金)	第7回医療・医薬品作業班 (1)新型インフルエンザ対策における抗インフルエンザ ウイルス薬の備蓄について
2月2日(木)	厚生労働省 事前打ち合わせ
2月3日(金)	第8回医療・医薬品作業班 (1)新型インフルエンザ対策における抗インフルエンザ ウイルス薬の備蓄について

**その他**

9月29日(木)	総務省近畿管区行政評価局による「感染症対策に関 する行政評価・監視」調査会 倭 正也、深川敬子、山内真澄
10月26日(水)	常滑市民病院見学、一類感染症ワークショップ開催打 ち合わせ 倭 正也、深川敬子、山内真澄
11月12日(土)	日本医療研究開発機構(AMED) 熱帯病治療薬研究班会議 倭 正也

**—今年度の成果と反省点—**

韓国で開催された「感染症対策国際会議」のシンポジストとして、  
タイで開催された「第19回救命医療に関するアジア太平洋会議  
2016-APCCCM 2016」の演者としてご招待を受け、日本の感染症  
に関する救急対応システムについて発表した。

特殊任務看護師への希望者があり、同じ志を持つ仲間が増え  
たことは、意欲を高めるひとつとなった。希望してくれた新しい仲  
間と、継続して役割を担ってくれている仲間を大事にしたいと思  
う。

反省点は募集していたことを知らない人がいたことである。メー  
ルで募集を行ったが、来年度は有効な方法で募集を行いたい。

**—来年度への抱負—**

患者さんやご家族の気持ちを十分に理解して支援を行い、安  
心して治療に専念していただけるようケアをすることを考え体制を  
整えていくことが重要だと考えている。それを基本に考え、医療者、  
事務職で体制の見直しを行い、既存の対応マニュアルの修正を  
行いたい。